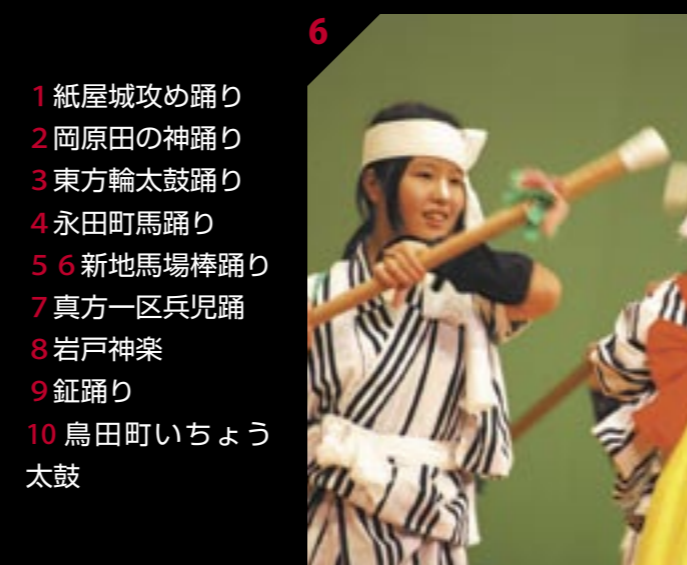


# 舞継がれる静と動

披露された郷土芸能一覧

1 紙屋城攻め踊り 江戸時代（1700年元禄の頃）、戦国時代（1570年頃）の伊東と島津の覇権争いが唄や踊りに表現されて、城攻め踊りが発生したと考えられている。2 岡原田の神踊り 別名「めしげ踊り」ともい、約800年前、肥後・薩摩を中心に歌い踊られた豊年踊り。笛に合わせて地面を祓い、七・七調の相撲口説にのせてメシゲを打ち鳴らしながら舞う。3 東方輪太鼓踊り 朝鮮出兵の際、島津氏が士気を鼓舞するため鐘や太鼓を打ち鳴らし戦った。その様子を舞踏化したものが起源と言われている。4 永田町馬踊り 明治、大正の頃、谷山（鹿児島市）・国分・隼人あたりから今の永田町へ荷馬車業者が移り住み、伝えられたと言われている。

いる。5 6 新地馬場棒踊り 慶長年間、朝鮮出兵に薩摩藩も参加した。薩摩藩の島津義弘が帰還した折、戦功を祝福して各地で催された踊りのひとつ。7 真方一区兵児踊 兵児踊 天正年間、島津・伊東の争いで、島津氏が士気を鼓舞するために、法螺貝・太鼓を鳴らしたのが起源と伝えられている。8 岩戸神楽 楽霧島山麓の各地に伝わる「神舞」のひとつで、無病息災、五穀豊穣に対する感謝として舞われてきた。9 鉦踊り 源氏方は敗れた平家の残党を討つため、九州日向まで渡り、土着民となった。彼らが華々しかった戦いの有様をドラマ化したものが起源と言われている。10 鳥田町いちょう太鼓 平成10年に結成され、中学生から小学生へと、少ない児童数で受け継がれている。



adorned  
歴史の結晶が一堂に。  
荘厳に舞う

- 1 紙屋城攻め踊り
- 2 岡原田の神踊り
- 3 東方輪太鼓踊り
- 4 永田町馬踊り
- 5 6 新地馬場棒踊り
- 7 真方一区兵児踊
- 8 岩戸神楽
- 9 鉦踊り
- 10 鳥田町いちょう太鼓